

平成29年度第3号(通算8号)

# 世田谷区立平和資料館だより

平成29年10月1日発行 / 生活文化部人権・男女共同参画担当課 平和資料館

## 特別展『四國五郎展』開催中〔10月1日(日)～29日(日) 平和資料館多目的室〕



金星社「絵本 おこりじぞう」の表紙絵



在りし日の四國五郎氏

期間中、木内みどりさんによる「おこりじぞう」の朗読会を開催いたします。

1回目 10月 8日(日) いずれも

2回目 10月22日(日) 午後2時より

※会場が狭いので、入場は先着30名です。午後1時より整理券を当館

絵本「おこりじぞう」の絵を描いたことで知られる四國五郎氏(1924～2014)は、広島県生まれの画家です。

昭和19(1944)年出征し、満州の関東軍に入隊。終戦後シベリアに抑留され、昭和23(1948)年広島に復員しました。

復員後、広島の惨状と、身内の被爆死に衝撃を受け、峠三吉氏らと、詩と絵の反戦・反核・平和運動を推進しました。

作品には、「峠三吉氏の『原爆詩集』の表紙絵」「絵本 おこりじぞう」「広島のスケッチ」などがあります。

平成11(1999)年には、長年の活動が認められ、広島文化賞を受賞しました。

この特別展では「おこりじぞう」の原画やシベリア抑留の資料などを展示しその足跡をたどるとともに、四國五郎氏の平和に対する思いを伝えていきます。

### 展示内容

○絵本「おこりじぞう」の原画8点

○サダコ(油彩)

○シベリア抑留の資料

・豆日記 ・豆日記を隠した軍靴

・名前や絵が掘り込まれた飯盒

○シベリア抑留シリーズ(水彩)

○黒い雨(油彩)

○峠三吉像(油彩)

他

※展示品は変わることがあります。



## 第4回企画展

## 収藏品展「庶民の生活」

今回の企画展は、戦中・戦後の人びとの衣食住に関連する収藏品を展示いたします。この企画展を通して、戦争中の庶民の生活の様子について知り、いかに戦争が人びとを苦しめ、生活を変えてしまいか 考えていただければと思います。

開催期間 平成29年11月15日(水)  
～平成30年2月25日(日)

開催場所 平和資料館多目的室



衣料切符

物資不足のため、この切符がないと服が買えませんでした。



防空電球と覆い

夜、光が家の外に漏れないようにしました。爆撃で狙われないようにするためです。



# 平和映画祭 (7月28日~30日) 実施報告



今年度の平和映画祭は、平和資料館で7月28日(金)~30日(日)の3日間開催いたしました。

上映映画は、長崎の原爆や太平洋戦争の記録映画(28日)、児童向けのアニメーション(29日)、そして再現映画の「ヒロシマ」(30日)です。また、原爆の映画上映にあたって、世田谷同友会の方から被爆体験の話がうかがいました。

来場者は3日間でのべ170人(内児童38人)でした。これは、昨年の映画祭の約3倍になります。また、映画をご覧になった方々から、

「悲惨な戦争が実感できました。実際の記録フィルムはすごい。映像が鮮明でびっくりしました。」(28日)

「体験者の話は生々しい内容でしたけど、いつ自分の身におこるか、おきてほしくないと感じました。」(28日講演)

「子ども向けのアニメと思えませんでした。戦争の恐怖、平和の大切さをしみじみ感じました。」(29日)

「期待していた以上に感激しました。上映活動は大変意義がありますので、がんばってください。」(30日)

「戦後72年がたち記憶が薄れていく中、被爆された方の生の気持ちを聞くことができました。」(30日講演)

など多数のご意見・ご感想が寄せられました。これらのご意見・ご感想を来年の映画祭に生かしてまいります。



## 収蔵品紹介



伝単 (でんたん)

アメリカ軍が空から撒いたビラ。  
(新収蔵品・展示中)



寄せ書きの日章旗

兵隊が出征する時に贈られた旗。  
硫黄島玉砕時の司令官 栗林忠道  
中将の署名がある。(展示中)



国際写真新聞 (同盟通信社発行)

昭和11年9月 (168号)

~昭和13年12月 (221号)

(新収蔵品・収蔵庫保管)

□ 開館時間 午前9時 ~ 午後5時 (入館は午後4時45分まで)

□ 入館料 無料

□ 休館日 毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌水曜日)  
年末年始 (12月29日~1月3日)

□ 所在地 〒154-0001 東京都世田谷区池尻1-5-27  
世田谷公園内 (野球場となり)

☎ 03-3414-1530 FAX 03-3414-1532

